

## 第2回 特別研修会 (DHセミナー)

### —これからのインプラント治療に必要な考え方— 初診からメンテナンスまで トラブルのないインプラント治療のために

日時：10月2日(日)

場所：富士ソフト アキバプラザ



岡田 淳 (栃木県)



平成28年10月2日、富士ソフト アキバプラザにて第2回特別研修会が開催されました。

今回は、「佐藤孝弘先生、久美子先生(歯科衛生士)ご夫妻による、「初診からメンテナンスまで トラブルのないインプラント治療のために—これからのインプラント治療に必要な考え方—」と題したご講演が行われました。

佐藤先生は新潟大学補綴科のご出身ですが、私の先輩に当たる方で、私が所属していた当時の医局長を務めていらっしゃった先生です。当時から非常に魅力的な先生でしたが、現在では奥様と共に全国を駆け回り、インプラント治療のスペシャリストとしてご活躍されており、私自身、久しぶりの再会にとても心が躍り、講演を心待ちにしていました。お二人のチーム医療の神髄が聞ける、またとないチャンスということで、当日は歯科医師だけではなく、多くの歯科衛生士も参加していました。

講演は、①初診～コンサルテーション、②インプラント外科、③補綴、上部構造、④メンテナンス、⑤インプラント周囲炎というインプラント治療の全てを網羅した内容で、それぞれ歯科医師と歯科衛生士の立場からお話し頂き、臨床例や文献的考察を交えた大変有意義な内容となりました。

初診～コンサルテーションにおいては、インプラントコーディネータとして患者と歯科医師を繋ぎ、治療を統括する役目として歯科衛生士が非常に重要であることをご講演されました。

インプラント外科においては、佐藤先生より、ストローマンインプラントの優位性、ITIのSACアセスメントツールを用いた外科治療時の埋入位置、埋入時期、補填材等についてのエビデンスと臨床例を丁寧にご講演頂きました。また久美子先生からはアシスタントワークや感染対策について、歯科衛生士の立場からわかりやすく講演して頂きました。

補綴、上部構造においては、モノシリックフルジルコニアの有用性についてご講演頂きました。

メンテナンス、⑤インプラント周囲炎においては、現在のコンセンサスをエビデンスベースでまとめ、どのように対処していくかということ、臨床例を踏まえ大変わかりやすくご講演頂きました。

今回のご講演で、インプラント治療はチーム医療であり、その中で歯科医師と歯科衛生士がコミュニケーションをしっかりと図り、ゴールに向けて共に研鑽していくことが大切であることを学びました。大変貴重で有意義な研修会であったことを、ここにご報告させていただきます。

